

ZENworks[®] 2020 Update 2 オンラインインストールガイド

2021年8月

保証と著作権

Micro Focus、関連会社、およびライセンサ (「Micro Focus」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Micro Focus は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

目次

このガイドについて	5
1 ZENworks の正しいアンインストール順序	7
2 Windows デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	9
Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール	9
Windows からの ZENworks プライマリサーバの無人アンインストール	12
Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	14
Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	17
サテライトサーバの降格	17
ZENworks Agent のアンインストール	19
3 Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	23
Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール	23
Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	26
Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	27
サテライトサーバの降格	27
ZENworks Agent のアンインストール	28
トラブルシューティング	30
4 Macintosh デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	31
Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	31
Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	32
サテライトサーバの降格	32
ZENworks Agent のアンインストール	32

このガイドについて

この『ZENworks アンインストールガイド』には、ZENworks ソフトウェアを ZENworks プライマリサーバ、サテライト、および管理対象デバイスから正常に削除するために役立つ情報が記載されています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」
- ◆ 9 ページの第 2 章「Windows デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」
- ◆ 23 ページの第 3 章「Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」
- ◆ 31 ページの第 4 章「Macintosh デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用してください。

その他のマニュアル

ZENworks には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。その他のマニュアルについては、[ZENworks マニュアル Web サイト](#)を参照してください。

1 ZENworks の正しいアンインストール順序

ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、次の推奨順序に従います。

1. すべての管理対象デバイスから ZENworks Agent をアンインストールします。
2. すべてのサテライトサーバを管理対象デバイスに降格し、それらのデバイスから ZENworks Agent をアンインストールします。
3. 最初のプライマリサーバを除くすべてのプライマリサーバから、ZENworks プライマリサーバおよび Agent ソフトウェアをアンインストールします。

システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

最初のプライマリサーバの前にすべてのプライマリサーバをアンインストールしないと、最初のプライマリサーバを削除したときに、これらのプライマリサーバは孤立し、アンインストールできなくなります。その場合、プライマリサーバソフトウェアを削除するには、サーバのイメージを再作成する必要があります。

4. 最初のプライマリサーバをアンインストールします。

2 Windows デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Windows デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず [7 ページ](#) の第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」を確認してください。

- [9 ページ](#) の「Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール」
- [14 ページ](#) の「Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」
- [17 ページ](#) の「Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」

Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール

ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- ZENworks プライマリサーバには、ZENworks プライマリサーバソフトウェアと ZENworks Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Agent のアンインストールパスワードが必要な場合 ([ZENworks Agent のアンインストールパスワードが必要です](#)) オプションが有効な場合)、パスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターでゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

- システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

Windows プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。

- 2 [次へ] をクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ プライマリサーバ: ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、このアドレスはデフォルトでサーバの localhost アドレスおよびポートに設定されています。プライマリサーバが標準のポートを使用していない場合は、アドレスを編集して正しいポート番号を含めます。◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。◆ パスワード: [ユーザ名] フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます ([ユーザに ZENworks Agent のアンインストールを許可] オプションが有効な場合)。</p> <p>Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。</p>
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>利用可能なオプションは、[ZENworks サーバをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除する] オプションのみです。[次へ] をクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p data-bbox="516 222 1377 249">次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="540 268 1430 478">◆ ZENworks プレエージェント : ZENworks プレエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 ZENworks プレエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できます。 ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks Agent Reference』の「Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device」を参照してください。 <li data-bbox="540 617 1430 743">◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェアをインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 <li data-bbox="540 762 1430 856">◆ ZENworks Imaging ファイル : イメージファイル (novell\zenworks\work\content-repo\images ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。 <li data-bbox="540 875 1430 1003">◆ ZENworks コンテンツファイル : アプリケーションファイル、パッチファイル、ポリシーファイル、システム更新ファイルなどのコンテンツファイル (novell\zenworks\work\content-repo\content ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。
3	<p data-bbox="337 1050 1430 1115">ZENworks Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。</p> <p data-bbox="337 1131 1430 1234">プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。</p>
4	<p data-bbox="337 1253 1430 1356">アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、[今すぐ再起動] オプションが選択されていることを確認して、[完了] をクリックします。</p> <p data-bbox="337 1373 1430 1438">必要に応じて、[今すぐ再起動] オプションを選択解除し、後でサーバを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。</p>
5	<p data-bbox="337 1457 1430 1522">サーバが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="362 1541 1430 1644">◆ ZENworks ログファイル : ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で <code>ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks</code> ディレクトリを削除できます。 <li data-bbox="362 1663 1430 1728">◆ [ZENworks コントロールセンター] アイコン : [ZENworks コントロールセンター] アイコンがデスクトップに残っているときは、手動で削除できます。 <li data-bbox="362 1747 1430 1850">◆ ZENworks Imaging ファイル : アンインストール時にイメージファイルを保持しておいたものの、後で削除または移動したくなった場合、ファイルは <code>novell\zenworks\work\content-repo\images</code> ディレクトリにあります。

- ◆ **ZENworks コンテンツファイル** : アンインストール時にコンテンツファイルを保持しておいたものの、後で削除または移動しなくなった場合、ファイルは `novell\zenworks\work\content-repo\content` ディレクトリにあります。
- ◆ **CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除しなくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できません。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

Windows からの ZENworks プライマリサーバの無人アンインストール

無人 (サイレント) による方法を使用して Windows プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe <remove_options>
[zone_options] [display_options] [other_options]
```

重要 : ZENworks プライマリサーバの無人インストールを実行するには、`display_option -q` を使用してください。

表2-1 削除オプション

オプション	説明
-x --remove	ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。このオプションまたは -c オプションを必ず使用する必要があります。
-c --local-only	ZENworks ソフトウェアをデバイスからアンインストールしますが、ゾーンからデバイスを登録解除しません。このオプションまたは -x オプションのいずれかが必要です。
	ZENworks プライマリサーバには、ZENworks サーバソフトウェアと ZENworks Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでサーバに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。
	このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

オプション	説明
-s	プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS、およびサーバが実行されているポート番号を指定します。プライマリサーバがデフォルトポート (80) で実行されている場合、このオプションを使用する必要はありません。
-o	ZENworks プレエージェントを保持しますが、ZENworks Agent パッケージをアンインストールします。
--oem	
-i	ZENworks イメージファイルをサーバから削除します。イメージファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/images ディレクトリに保存されています。
--delete-images	
-j	ZENworks コンテンツファイル (アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイル、ポリシーファイルなど) をサーバから削除します。コンテンツファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/content ディレクトリに保存されています。
--delete-content	

表 2-2 ゾーンオプション

オプション	説明
-u <username>	管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。これは、-x 削除オプションを使用する場合にのみ必要です。
--user <username>	
-p <password>	-u オプションで指定した ZENworks 管理者のパスワードを指定します。
--password <password>	
-g <guid>	デバイスの GUID。
--guid <guid>	
-l <packages>	アンインストールするパッケージの順序指定リスト。このリストはセミコロン区切りです。
--list <packages>	

表 2-3 表示オプション

オプション	説明
-q	サイレントインストールを実行します。
--quiet	
-h	メッセージを表示し、ヘルプを終了します。
--help	

表2-4 その他のオプション

オプション	説明
-L --leave-packages	サードパーティ製パッケージを保持します。少なくとも、保持するパッケージの最初の3文字を指定する必要があります。複数のパッケージ名をそれぞれカンマ(,)で区切って指定することもできます。
-d --remove-log-dir	ログディレクトリを削除します。

Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

管理対象デバイスから ZENworks Agent をアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- ◆ アンインストールパスワードが必要な場合 ([ZENworks Agent のアンインストールパスワードが必要です] オプションが有効な場合)、そのパスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

- ◆ デバイスに ZENworks Full Disk Encryption のポリシーが適用されている場合、ZENworks Agent をアンインストールする前に、ディスク暗号化ポリシーの割り当てを削除します。これにより、ソフトウェアの削除前にデバイスのディスクが復号化されます。ディスクを正常に復号化するため、このベストプラクティスを推奨します。
- ◆ デバイスに ZENworks Endpoint Security Management のデータ暗号化ポリシーが適用されている場合、ファイルをセーフハーバーフォルダおよび暗号化リムーバブルストレージデバイスからコンピュータ上のセーフハーバー以外の (非暗号化) フォルダへ移動して、ユーザにファイルを復号化してもらいます。ユーザがファイルを復号化し終わったら、デバイスからデータ暗号化ポリシーの割り当てを削除し、ZENworks Agent をアンインストールします。

Windows 管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。

- 2 [次へ] をクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Agent の [エージェント] プロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: [ユーザ名] フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます ([ユーザに ZENworks Agent のアンインストールを許可] オプションが有効な場合)。</p> <p>Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。</p>
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>[ZENworks エージェントをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除する] オプションを選択します。[次へ] をクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレーエージェント: ZENworks プレーエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレーエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレーエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できます。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレーエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks Agent Reference』の「Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェア をインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 <p>重要: デバイスに ZENworks プレーエージェントがインストールされている場合にその旧バージョンをインストールするには、最初に既存のバージョンの ZENworks プレーエージェントを、インストール済みバージョンの CASA と一緒にアンインストールする必要があります。</p>

- ZENworks Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。
- アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、[今すぐ再起動] オプションが選択されていることを確認して、[完了] をクリックします。

必要に応じて、[今すぐ再起動] オプションを選択解除し、後でデバイスを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。
- デバイスが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。
 - ◆ **ZENworks ログファイル**: ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で `ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks` ディレクトリを削除できます。
 - ◆ **CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除しなくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できません。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- [17 ページの「サテライトサーバの降格」](#)
- [19 ページの「ZENworks Agent のアンインストール」](#)

サテライトサーバの降格

サテライトサーバの降格に使用できる方法には、次の 2 つがあります。

最初の方法では、ZENworks コントロールセンターを使用します。この方法を使用する場合の手順は、『ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

2 つ目の方法では、サテライトサーバで ZENworks アンインストールプログラムを実行します。手順は次のとおりです。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。


```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。

- 2 [\[次へ\]](#) をクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>サテライトサーバを降格するには、ZENworks 管理ゾーンへの接続に必要な次の情報を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Agent の [エージェント] プロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: [ユーザ名] フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されていて、サテライトサーバとして表示されます。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます ([ユーザに ZENworks Agent のアンインストールを許可] オプションが有効な場合)。</p> <p>Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。</p> <p>Actions (アクション) この画面は、サテライトサーバを降格するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>利用可能なオプションは [Demote the Satellite server (サテライトサーバの降格)] のみです。[次へ] をクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレエージェント : ZENworks プレエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できます。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks Agent Reference』の「Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェア をインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 ◆ ZENworks Imaging ファイル : このオプションは、Imaging サテライトサーバに対してのみ表示されます。イメージファイル (novell\zenworks\work\content-repo\images ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。 ◆ ZENworks コンテンツファイル : このオプションは、コンテンツサテライトサーバに対してのみ表示されます。アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイルなどのコンテンツファイル (novell\zenworks\work\content-repo\content ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。

- 3 アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、[完了] をクリックします。
- 4 管理対象デバイスがサテライトサーバでなくなったことを確認するため、通知領域の  アイコンをダブルクリックします。左側のナビゲーションペインで、[サテライト] リンクが利用できなくなるはずです。

ZENworks Agent のアンインストール

管理対象デバイスから ZENworks Agent をアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- ◆ アンインストールパスワードが必要な場合 ([ZENworks Agent のアンインストールパスワードが必要です] オプションが有効な場合)、そのパスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

- ◆ デバイスに ZENworks Full Disk Encryption のポリシーが適用されている場合、ZENworks Agent をアンインストールする前に、ディスク暗号化ポリシーの割り当てを削除します。これにより、ソフトウェアの削除前にデバイスのディスクが復号化されます。ディスクを正常に復号化するため、このベストプラクティスを推奨します。
- ◆ デバイスに ZENworks Endpoint Security Management のデータ暗号化ポリシーが適用されている場合、ファイルをセーフハーバーフォルダおよび暗号化リムーバブルストレージデバイスからコンピュータ上のセーフハーバー以外の (非暗号化) フォルダへ移動して、ユーザにファイルを復号化してもらいます。ユーザがファイルを復号化し終わったら、デバイスからデータ暗号化ポリシーの割り当てを削除し、ZENworks Agent をアンインストールします。

Windows 管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。

- 2 [次へ] をクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Agent の [エージェント] プロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: [ユーザ名] フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます ([ユーザに ZENworks Agent のアンインストールを許可] オプションが有効な場合)。</p> <p>Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。</p>
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>[ZENworks エージェントをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除する] オプションを選択します。[次へ] をクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ZENworks プレエージェント: ZENworks プレエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できません。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks Agent Reference』の「Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device」を参照してください。</p> CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェア をインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 <p>重要: デバイスに ZENworks プレエージェントがインストールされている場合にその旧バージョンをインストールするには、最初に既存のバージョンの ZENworks プレエージェントを、インストール済みバージョンの CASA と一緒にアンインストールする必要があります。</p>

- ZENworks Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。
- アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、[今すぐ再起動] オプションが選択されていることを確認して、[完了] をクリックします。

必要に応じて、[今すぐ再起動] オプションを選択解除し、後でデバイスを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。
- デバイスが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。
 - ZENworks ログファイル**: ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で `ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks` ディレクトリを削除できます。
 - CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除したくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できません。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

3 Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Linux デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず [7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」](#)を確認してください。

- [23 ページの「Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール」](#)
- [26 ページの「Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」](#)
- [27 ページの「Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」](#)
- [30 ページの「トラブルシューティング」](#)

Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール

ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

Linux プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 サーバコンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall -x -s http://server_address:port_number -u username -p password -q
```

例：

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall -x -s http://zserver.novell.com:8080 -u Administrator -p novell -q
```

- x ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。ソフトウェアを登録解除しない場合は、代わりに -c オプションを使用します。

- s プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS、およびサーバが実行されているポート番号を指定します。プライマリサーバがデフォルトポート (80) で実行されている場合、このオプションを使用する必要はありません。
- u 管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。このオプションを使用しない場合、ユーザ名の入力を求めるプロンプトが表示されます。
- p ZENworks 管理者のパスワードを指定します。

アンインストール時に他のオプションを使用することもできます。オプションを使用する場合、次の構文が適用されます。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall <remove_options> [zone_options] [display_options]
[other_options]
```

表3-1 削除オプション

オプション	説明
-x --remove	ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。このオプションまたは -c オプションを必ず使用する必要があります。
-c --local-only	ZENworks ソフトウェアをデバイスからアンインストールしますが、ゾーンからデバイスを登録解除しません。このオプションまたは -x オプションのいずれかが必要です。 ZENworks プライマリサーバには、ZENworks サーバソフトウェアと ZENworks Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでサーバに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。 このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。
-o --oem	ZENworks プレエージェントを保持しますが、ZENworks Agent パッケージをアンインストールします。
-i --delete-images	ZENworks イメージファイルをサーバから削除します。イメージファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/images ディレクトリに保存されています。

オプション	説明
-j --delete-content	ZENworks コンテンツファイル (アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイル、ポリシーファイルなど) をサーバから削除します。コンテンツファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/content ディレクトリに保存されています。

表3-2 ゾーンオプション

オプション	説明
-u <username> --user <username>	管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。これは、-x 削除オプションを使用する場合にのみ必要です。
-p <password> --password <password>	-u オプションで指定した ZENworks 管理者のパスワードを指定します。
-g <guid> --guid <guid>	デバイスの GUID。
-l <packages> --list <packages>	アンインストールするパッケージの順序指定リスト。このリストはセミコロン区切りです。

表3-3 表示オプション

オプション	説明
-q --quiet	サイレントインストールを実行します。
-h --help	メッセージを表示し、ヘルプを終了します。

表3-4 その他のオプション

オプション	説明
-L --leave-packages	サードパーティ製パッケージを保持します。少なくとも、保持するパッケージの最初の 3 文字を指定する必要があります。複数のパッケージ名をそれぞれカンマ (,) で区切って指定することもできます。
-d --remove-log-dir	ログディレクトリを削除します。

Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール (言語) を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール (英語) をそのまま使用します。

ヒント: どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。
- 4 [アンインストールのタイプ] 画面で、実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- **ゾーンからの登録解除とアンインストール**: ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- **ローカルアンインストールのみ**: ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

- 5 [ローカルアンインストールのみ] を選択した場合は、**ステップ 6** までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。
 - 5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。

ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。
 - 5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。

- 5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押します。
- 5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。
- 6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始するか、「Back」と入力して前の画面でアンインストールオプションを変更します。
- 7 アンインストールが完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ◆ ZENworks Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- ◆ すべての ZENworks 関連 RPM がデバイスから削除される。
- ◆ [ゾーンからの登録解除とアンインストール] オプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます ([デバイス] タブ > [管理対象] タブ > [サーバ] フォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
- ◆ /tmp/err.log

Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- ◆ [27 ページの「サテライトサーバの降格」](#)
- ◆ [28 ページの「ZENworks Agent のアンインストール」](#)

サテライトサーバの降格

サテライトサーバの降格に使用できる方法には、次の 2 つがあります。

最初の方法では、ZENworks コントロールセンターを使用します。この方法を使用する場合の手順は、『ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

2 つ目の方法では、サテライトサーバで ZENworks アンインストールプログラムを実行します。手順は次のとおりです。


- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール (言語) を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール (英語) をそのまま使用します。

ヒント: どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。
- 4 [アンインストールのタイプ] 画面で、<Enter> を押してデフォルトのオプション ([サテライトサーバの降格]) を受け入れます。
- 5 [ZENworks 管理ゾーンの情報] 画面で、ZENworks 管理ゾーンに接続してサテライトサーバを標準の管理対象デバイスに降格するのに必要な情報を入力します。
 - 5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。

ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。
 - 5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。
 - 5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押します。
 - 5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。
- 6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始します。
- 7 サテライトサーバの降格が完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。
- 8 管理対象デバイスがサテライトサーバでなくなったことを確認するため、通知領域の  アイコンをダブルクリックします。左側のナビゲーションペインで、[サテライト] リンクが利用できなくなるはずです。

ZENworks Agent のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```
- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール (言語) を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール (英語) をそのまま使用します。

ヒント: どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。

4 [アンインストールのタイプ] 画面で、実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- ◆ **ゾーンからの登録解除とアンインストール** : ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- ◆ **ローカルアンインストールのみ** : ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

5 [ローカルアンインストールのみ] を選択した場合は、**ステップ 6** までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。

5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。

ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。

5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。

5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押します。

5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。

6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始するか、「Back」と入力して前の画面でアンインストールオプションを変更します。

7 アンインストールが完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ◆ ZENworks Agent ソフトウェアがアンインストールされる。

- ◆ すべての ZENworks 関連 RPM がデバイスから削除される。
- ◆ [ゾーンからの登録解除とアンインストール] オプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます ([デバイス] タブ > [管理対象] タブ > [サーバ] フォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
- ◆ /tmp/err.log

トラブルシューティング

Linux プライマリサーバで ZENworks を正常にアンインストールしたが、複数の警告とエラーが表示される

ソース : ZENworks

説明 : Linux プライマリサーバで ZENworks をアンインストールする際に、複数の警告とエラーメッセージが表示されました。ZENworks アンインストールプログラムを起動するために次のコマンドが使用されました。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall -x -s http://server_address:port_number -u  
username -p password -q
```

アクション : すべての警告と「エラー: そのようなイメージはありません」というエラーメッセージは無視しても問題ありません。ZENworks は正常にアンインストールを続行します。

4 Macintosh デバイスからのZENworks ソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Macintosh デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」を確認してください。

- 31 ページの「Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」
- 32 ページの「Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」

Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

- 2 実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- **ゾーンからの登録解除とアンインストール** : ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- **ローカルアンインストールのみ** : ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

- 3 [ローカルアンインストールのみ] を選択した場合は、[ステップ 4](#) までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。

3a デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。

3b ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。

- 4 アンインストールが完了したら、ターミナルウィンドウを閉じます。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ZENworks Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- すべての ZENworks 関連ソフトウェアがデバイスから削除される。
- [ゾーンからの登録解除とアンインストール] オプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます ([デバイス] タブ > [管理対象] タブ > [サーバ] フォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

```
/var/opt/novell/zenworks/logs/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
```

Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- [32 ページの「サテライトサーバの降格」](#)
- [32 ページの「ZENworks Agent のアンインストール」](#)

サテライトサーバの降格

ZENworks アンインストールプログラムには、Macintosh サテライトを降格するオプションは組み込まれていません。サテライトサーバを降格するには、ZENworks コントロールセンターを使用する必要があります。ZENworks コントロールセンターの使用方法は、『ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

ZENworks Agent のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```


2 実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- ◆ **ゾーンからの登録解除とアンインストール** : ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- ◆ **ローカルアンインストールのみ** : ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対して [Allow users to uninstall the ZENworks Agent] オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、フォルダレベル ([デバイス] > [管理対象] > フォルダ [詳細] > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ])、またはデバイスレベル ([デバイス] > デバイス > [設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] > [エージェントセキュリティ]) で設定されています。

3 [ローカルアンインストールのみ] を選択した場合は、**ステップ 4** までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。

3a デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。

3b ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。

4 アンインストールが完了したら、ターミナルウィンドウを閉じます。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ◆ ZENworks Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- ◆ すべての ZENworks 関連ソフトウェアがデバイスから削除される。
- ◆ [ゾーンからの登録解除とアンインストール] オプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます ([デバイス] タブ > [管理対象] タブ > [サーバ] フォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

/var/opt/novell/zenworks/logs/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml

